



「外国人介護職員の指導担当者向け講座」研修
2021年10月15日

＜松山学園松山福祉専門学校＞

宮崎里司

早稲田大学大学院日本語教育研究科教授

日越大学（ハノイ国家大学）日本語教育プログラム総括
全国老人保健施設協会人材対策委員会・人材対策部会員



1限 ポストコロナを見据えた外国人介護就労者の受け入れ (10:00~10:50)
(宮崎里司 早稲田大学)

2限 介護日本語 (11:00~11:50)
(宮崎里司 早稲田大学)

<昼休憩>

3限 介護現場での介護日本語力の評価法 (13:00~13:50)
(宮崎里司 早稲田大学)

4限 外国人および日本人向けの介護人材用コンテンツ紹介 (14:00~14:50)
小林秀樹 (株)ロードツリー代表取締役)

5限 介護施設での日本語オンライン学習コース紹介 (15:00~15:50)
永田陽子 (株)グローバルウィザス)



介護技能評価試験・介護日本語評価試験

《介護技能評価試験・介護日本語評価試験について》		
	介護技能評価試験	介護日本語評価試験
問題数・試験時間・ 試験科目	全 45 問 60 分 (学科試験: 40 問) ・介護の基本(10 問) ・こころとからだのしくみ(6 問) ・コミュニケーション技術(4 問) ・生活支援技術(20 問) (実技試験: 5 問) ・判断等試験等の形式による実技試験課題を出題 ▶出題基準	全 15 問 30 分 ・介護のことば(5 問) ・介護の会話・声かけ(5 問) ・介護の文書(5 問)
実施方法	コンピューター・ベースド・テストング(CBT)方式	



「外国人介護人材受入環境整備事業」の創設 (資料参照)

今後増加が見込まれる外国人の介護人材が国内の介護現場において円滑に就労し定着できることを目指す事業



「外国人介護人材受入環境整備事業」の4つの取り組み

1. 介護技能評価試験等実施事業

介護分野における特定技能1号外国人の送出しを行う外国において、介護の技能水準を評価するための試験等を実施

→ 3限目で「ワセダバンドスケール」を紹介

2. 外国人介護人材受入支援事業

介護技能の向上のための研修等の実施に対する支援

→ 地域の中核的な受入施設等において、介護技能向上のための集合研修等を実施



「外国人介護人材受入環境整備事業」の4つの取り組み

3. 介護の日本語学習支援等事業

介護の日本語学習を自律的に行うための環境整備の推進に対する支援

→ 介護の日本語学習を支援するための、WEBコンテンツの開発・運用等の実施

4限目で、謝継香講師から、オンライン日本語学習支援の紹介

4. 外国人介護人材相談支援事業

介護業務の悩み等に関する相談支援等を実施

→ 日本で働く全ての外国人の介護人材が安心して介護現場で就労・定着できる環境を整備する



やさしい日本語



やさしい日本語とは

1995年1月に、阪神・淡路地方を襲った大震災を機に、災害時の外国人への情報提供のために考え出された言語調整行動の一種で、日本語初学者にもわかりやすいように、語彙や文型、文法などを調整した日本語



現在の状況

現在では、平時における外国人への情報提供手段としても位置付けられており、行政情報や生活情報、毎日のニュース発信など、さまざまな分野で取り組みが広がっている。加えて、2021年に延長された東京オリンピック・パラリンピックの開催などでも、必要性が高まり、観光ツーリズムの一環として行政の活動に加えている自治体もある。



「やさしい日本語」のきまり

- 1 文末は、「です」「ます」「してください」形に統一する
- 2 漢字には、ルビ（ふりがな）をつける
- 3 方言は標準語にする
- 4 発音や意味が、原語と異なる場合があるので、カタカナ外来語はなるべく使わない（例）「サービス」→「ただ」
- 5 擬態語や擬音語は使わない（例）「頭がガンガンする」→「頭が痛い」
- 6 二重否定は使わない（例）「受け取ることができないわけではない」→「受け取れます」
- 7 文節で区切って余白を入れ、「分かち書き」にする（特に全文ひらがなの場合）（例）「明日再度お越しく下さい」 → 「明日 もう一度 来て ください」



「やさしい日本語」のきまり

- 8 情報を取捨選択し、一文を簡潔にする (例) こちらで確認いたしますので、折り返しのお電話でもよろしいでしょうか→確認のため、あとでお電話します
- 9 必要に応じて補足情報を加える (例) 早慶→早稲田大学と慶応大学
- 10 図やイラストを活用し、より分かりやすく伝える
- 11 結論や大切な情報は、文書の最初に書くことは先に明示し、下線や枠囲いなどで強調する
(例) 外国人の方は、住民登録をする時に、在留カードに住所が記載されるので、出国する場合には、1年以内であれば、再入国許可証は必要ありませんが、必ず、在留カードを提示してください→住民登録の時に在留カードが必要です。これは、再入国の時にも必要です。
- 12 理解していない場合には、別の言葉で言い換えたり、会話の途中で「分かりますか？」と、確認を入れる



「やさしい日本語」のきまり

- 13 連体修飾語は避ける（例）「二つ目の信号を左に曲がったコンビニのコピー機」→
「コンビニは、二つ目の信号を左に曲がります。そこにコピー機があります」
- 14 主語を補う（例）「田中さん、帰ってきた？」→「田中さん、木村さんは帰ってきた？」
- 15 固有名詞はそのまま残し、そのことばの後に（ ）などを使用し、言い換えを行う（例）「ジャルとアナ」→「飛行機会社の日本航空（JAL）と全日空（ANA）」
- 16 指定日や金額などは具体的に記載する（例）「明後日」→「25日」
- 17 和暦ではなく、西暦に統一する（例）「令和3年」→「2021年」
- 18 時間は12時間表記で記載する（例）「17時15分」→「午後5時15分」



「やさしい日本語」の変換

- 1 「ご両親」
→ 「お父さん・お母さん」
- 2 「公共交通機関を利用してください」
→ 「バス、タクシーや、電車で来てください」
- 3 「ご用件は何ですか」
→ 「どうしましたか」



「やさしい日本語」の変換

- 4 「高台に避難してください」
→ 「高いところに逃げてください」
- 5 「定刻11:00の30分前に集合して下さい」
→ 「10時30分に来てください」
- 6 「土足厳禁」
→ 「靴をぬいでください」



「やさしい日本語」の変換

- 7 「ここは禁煙です」
→ 「すみません、ここでタバコはだめです」 (ジェスチャーを入れると効果的)
- 8 「処方箋」
→ 「必要な薬の種類や量、薬の飲み方が書いてある紙」
- 9 「食後に一錠内服してください」 → 「ご飯のあとに、1つ飲みます」 「下記のハガキ用紙にご記入の上、切り取って投函してください」
→ 「下の ハガキに 書いて ください。そして 切り取って、郵便ポストに 入れて ください」



やさしい日本語の応用

- 1 日本語を母語とする小中学生の情報理解度を高めたり、日本人の高齢者に加え、ろう見や知的障害者向けの情報伝達にも寄与するという認識が広まってきた。
- 2 「お役所ことば」の好例である公用文は、日本人にも難しいため、日本語ユーザーのためのことばのバリアフリーとしての生涯教育の一環として注目されている
- 3 医療現場での、これまでの「お任せの医療」から、患者本人による自己決定権を尊重する考え方に基づく、「説明」と「同意」というインフォームドコンセントなどの場面でも役立つ。



「やさしい日本語」普及の壁①

そもそも、日本語がゼロの外国人には、「やさしい日本語」でも通じないため、減災を目的とするマニュアルの作成では、多言語対応をせざるを得ないことから、「やさしい日本語」も、情報提供手段のひとつとして捉えるべき



「やさしい日本語」普及の壁②

日本人側にとって、母語とは言え、新たな調整能力が必要となるため、習得が難しく、使い方に慣れるのは難しいのではないか。また、相手が本当に理解したかどうか、その場で検証する方法が困難ではないだろうかという疑問が残る。



「やさしい日本語」普及の壁③

「やさしい日本語」の作成の例として、擬態語や擬音語の使用制限が挙げられているが、介護現場の利用者は、時に、擬態語や擬音語で、自らの微妙な体調変化を訴える場合が多いため、むしろ聞きわける力が必要となる。



「やさしい日本語」普及の壁④

日本人側が、方言を標準語に変換して理解させても、外国人が、地域の共通語である方言に馴染めないと、結局は孤立する事態に陥ってしまい、周辺参加に留まり、社会の縁辺化を促すことになりかねない。